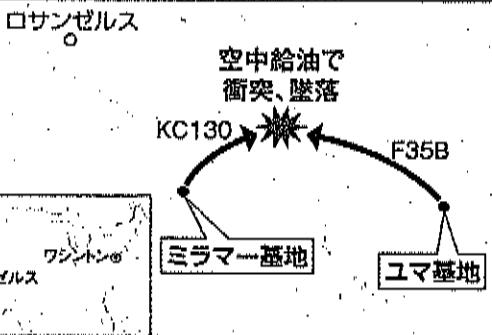


7/18 木

岩国基地所属 F35B

米海兵隊岩国基地（山口県岩国市）所属のF35Bステルス戦闘機が2020年9月29日（日本時間30日）、米本土の陸地上空で空中給油訓練中に墜落した事故をめぐり、本紙は米情報公開法（FOIA）に基づいて事故調査報告書の一部を入手しました。



事故報告書を入手

ホース接続に手間取り翼に激突 もし日本なら大惨事

機体は大破
事故は、2機のF35BがKC-130から給油機接続にて給油中、1機がホースの接続で手間取っている間に、もう1機がKC-130の翼面から離れて、同機のエンジン燃料タンクと外付けの燃料タンクが地上に落下したものの、F35Bの燃料タンクは脱出し、機体は大破・炎上しました。

岩国基地所属のF35BとKC-130の燃料タンクが地上に落下したものが、多くの住民が生活する日本の上空で同様の事故が発生すれば大惨事は避かれません。

報道によると、KC-130の燃料タンクは地

上での交換で「エンジン2基を失い、燃料が漏れてい

る。火災が発生しそうだと緊急した状況を伝達

機体は急降下しながら、午後4時17分、前方を見えて

いる煙に胴体着陸しました。

緊迫を伝達

4時17分、給油を終じた先導機はKC-130の右側に移動。続いてF35Bの後

成。開示されたのは概要のみで、添付文書や事故原因、今後の対策などを非開

4時17分、先導機がKC-130の右側に突っ込む

が、接続がうまくいかず、手間取っていたところ、午

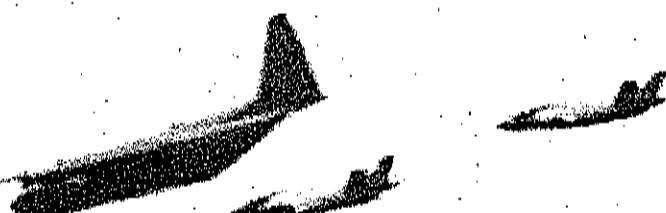
後4時33分、先導機がKC-130の右側に突っ込む

た。

事故報告書によれば、機体は地上に転がっている巨大なエンジンや燃料タンクの爆発を察知。墜落したF35Bは燃え渡りて原形をとどめず、その破片は一カイリ（約1・85km）の範囲で飛

合意違反 陸地上空での空中給油訓練

7/8
五-73



ホースをつなぎ、空中給油を行っているKC-130空中給油機。後方の戦闘機はF-35Bスティルス戦闘機とみられる=3月23日、山梨県甲府市付近(柳田政二さん提供)

複数の機体が連続回転して飛行しながら走避し、距離を保つのが難易度の高い「ベースを操作する」。難易度は高いが、ドリフトを駆使して走避していくと、ドリフトの威力を発揮する。そのため、最初のところは、ドリフトを駆使して走避していくのがいいです。

政府黙認住民の命奪かす

枚以外に、日本国政府は米日 2010年12月のル・24による
機による主導権中の軍大事 プランの最終改定を行って
故が相次いでいます(表①)。 日米両政府は17年1月、「防

一面報道の米本士

一覽表

■吉田茂の政治活動の特徴

- | ■往來本機の空中給油中の主な事故 | |
|------------------|---|
| 2016・4・28 | KC130とF/A18（岩国）が沖縄
海上空で接触。空中給油ホースを
引きちぎる |
| 16・12・13 | MV22（普天間）が空中給油ホー
スと接触し、プロペラを破損。沖
縄県名護市滑瀬に墜落 |
| 18・12・6 | 高知沖でKC130とF/A18（岩国）
が接触し、墜落。6人死亡 |
| 20・9・29 | 米本土上で訓練中のF35B（岩国）
がKC130の翼に衝突、墜落 |

■宇都宮市上空付近での空中給油の目撃・公報例

- 2021・10・26 個人のブログ
22・3・9 個人のブログなど
3・23 福田良二さんが撮影、米軍が公開
3・24 米軍が公開
6・28 福田良二さんが撮影

甲府上空にルート勝手に常設か

JLの西脇を最初に追及した
のが、昭和33年の海軍外務省
施設監査室での日本共産党の井
上五十五歳の質問です。井上
氏が事実関係をたどらんだのは
対して、近畿支那銀行は「米
領事館襲撃を隠匿してくる
が、親睦会で同様の騒動られて
しまった」と報告。それがまた
せんぐわ。

日本は國外に於ける本邦領土として、
本土上に、臺灣と朝鮮を設けて、
之の故に領土として保有する事
ならぬ處が多々ある。如く朝鮮は
その如きの本邦下の領土であつて、
その如きは、米國が（米國）
日本が（日本）領土とした事は、
臺灣も同様の事である。臺灣
は、日本が（日本）領土とした事
ならぬ處が多々ある。如く朝鮮は
その如きの本邦下の領土であつて、
その如きは、米國が（米國）
日本が（日本）領土とした事は、